

1 調査名称：沖縄市総合交通体系調査

2 調査主体：沖縄市

3 調査圏域：沖縄市内全域

4 調査期間：平成25年度～平成26年度
(平成25年度事業費については市単独費)

5 調査概要：

平成25年度実施の基礎調査を踏まえ、将来交通量の予測を行い将来道路ネットワークや将来公共交通ネットワーク及びその他の個別施策の検討を行う。また、本計画を推進するための課題を整理し、施策の達成状況を図るための目標値や計画策定後における適正な評価・検証・見直しを図る体制を検討する。

■平成25年度調査成果（※市単独事業）

- ・現況交通量調査及び地域特性・交通特性の把握
- ・交通課題及び問題点の抽出
- ・基本理念・目標像・基本方針の作成
- ・市民ニーズの把握
- ・委員会の設置

■平成26年度調査概要

- ・将来道路ネットワーク及び将来公共交通ネットワークの策定
- ・目標値の設定及び推進体制の検討
- ・市民ニーズの把握
- ・委員会の設置

I 調査概要

1 調査名：沖縄市総合交通体系調査

2 報告書目次

【本編】

第1章 沖縄市交通基本計画について

1-1. 沖縄市交通基本計画策定の目的

1-2. 計画の位置づけ

第2章 沖縄市における交通の課題

2-1. 沖縄市の概況と課題

2-2. 沖縄市における交通の課題

第3章 基本理念・目標像・基本方針

3-1. 基本理念

3-2. 目標像

3-3. 基本方針

第4章 施策の方向性

4-1. 将来交通ネットワーク

4-2. 目標像を目指す施策の方針

第5章 計画の実現に向けて

5-1. 施策の推進

5-2. 計画目標

5-3. 評価・検証・改善の仕組み

【資料編】

第1章 沖縄市の現況

1-1. 市の概況

1-2. 市土の概況

1-3. 人工等

1-4. 産業

1-5. 公共・公益施設の分布状況

1-6. 道路・交通の概況

1-7. 開発動向の整理

第2章 現況調査結果

2-1. 交通量調査

2-2. 市民アンケート調査

2-3. 意見交換会

第3章 上位・関連計画等

3-1. 主な上位・関連計画の概要

3-2. 主な上位・関連計画の整理

3-3. 沖縄市の上位・関連計画の整理

3-4. その他の関連調査

3-5. 将来交通の予測

第4章 地区別課題と現況

4-1. 北部地区の現況と課題

4-2. 中部地区の現況と課題

4-3. 東部地区の現況と課題

4-4. 西部地区の現況と課題

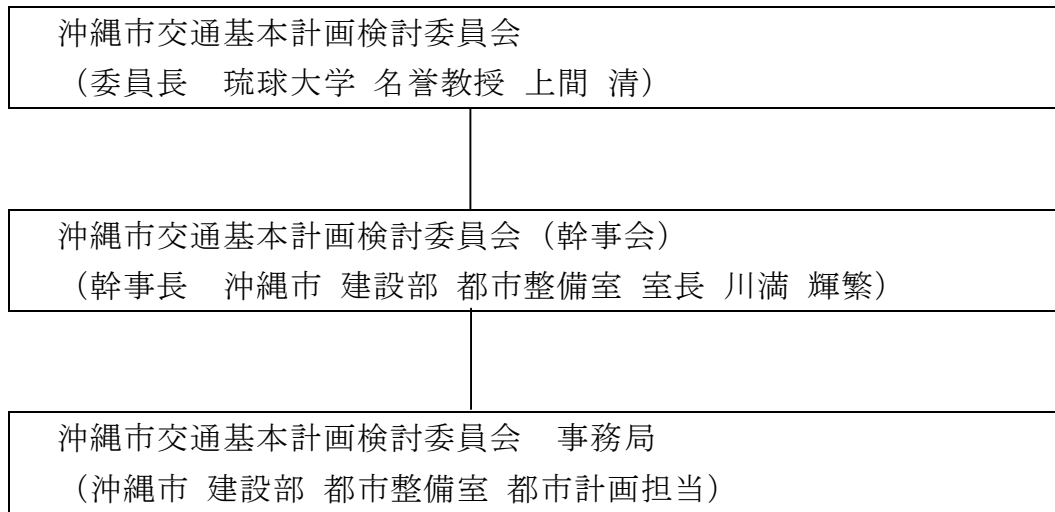
第5章 委員会・幹事会

5-1. 設置・運営の概要

5-2. 議事要旨

第6章 用語解説

3 調査体制



4 委員会名簿等：

委員会名簿

所属	職名	氏名
琉球大学	名誉教授	上間 清
琉球大学 工学部 環境建設工学科	助教	神谷 大介
沖縄商工会議所	中小企業振興部	平田 嗣森
沖縄市自治会長協議会	会長	喜友名 秀樹
NPO 法人バリアフリーネットワーク会議	理事長	親川 修
沖縄県バス協会	専務理事	慶田 佳春
沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課	課長	豊見山 秀樹
沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課	課長	喜舎場 正秀
沖縄総合事務局 運輸部 企画室	室長	成田 佳奈子
沖縄県 企画部 交通政策課	課長	嘉数 登
沖縄県 土木建築部 都市計画・モノレール課	課長	伊禮 年男
沖縄県 土木建築部 道路街路課	課長	上原 国定
沖縄市 建設部	部長	甲斐 広文
沖縄市 企画部	部長	源河 朝治
沖縄市 市民部	部長	伊佐 剛

幹事会名簿

所属	職名	氏名
沖縄市 建設部 都市整備室	室長	川満 輝繁
沖縄市 建設部 道路課	課長	比嘉 直樹

沖縄市 企画部 政策企画課	課長	宮里 善伸
沖縄市 建設部 都市整備室 都市計画担当	技幹	花城 博文
沖縄市 市民部 市民生活課	課長	盛島 久代
沖縄市 健康福祉部 高齢福祉課	課長	富原 守友
沖縄市 健康福祉部 障がい福祉課	課長	大城 勇
沖縄市 経済文化部 中心市街地活性化推進課	課長	照屋 隆秀

II 調査成果

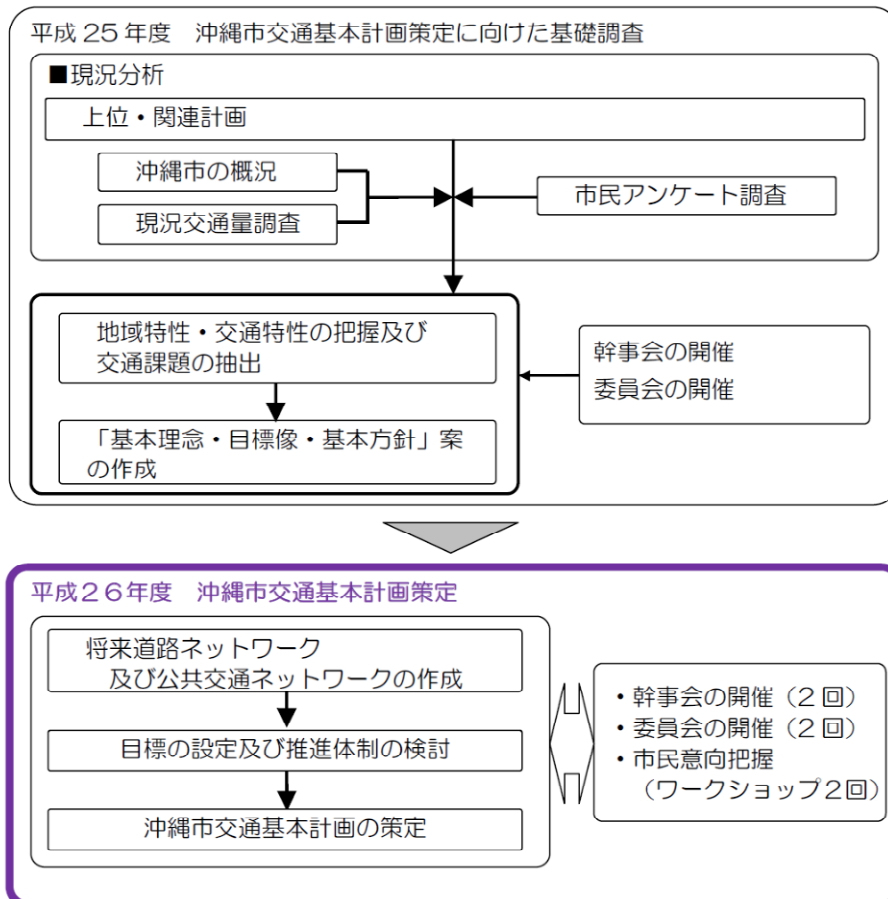
1 調査目的

沖縄市では、これまで市の総合計画や都市計画マスタープランにおいて道路交通体系の方針を位置づけ、各種施策を展開してきたところだが、慢性的な交通渋滞などの問題がみられる。さらには、近年の社会経済情勢の変化等を踏まえた防災面・環境問題への対応も重要な課題となっている。

こうした中、本市の将来像である国際文化観光都市を交通の面から実現していくためには、交通のあり方に関する基本的な考え方を示し、沖縄本島中部圏域における交通の要衝としての特性を活かしつつ、市民生活の向上や地域経済を支える道路交通体系の構築などの取り組みを総合的かつ戦略的に進めていくことが重要である。

したがって、本市の地域特性や関連施策等を踏まえ、交通政策の総合的・戦略的な展開を図るため交通基本計画の策定を行う。

2 調査フロー



3 調査圏域図

調査圏域：沖縄市内全域



図 沖縄市の位置

4 調査成果

<交通基本計画策定の構成>

沖縄市交通基本計画について

- 「沖縄市交通基本計画」は、上位計画に掲げた沖縄市の将来都市像の実現に向けて、**概ね 20 年後の将来都市交通体系**を示した、本市における交通に関する最上位計画

沖縄市における交通の課題

- 沖縄市の概況から課題・問題点を把握し、上位・関連計画（導かれる視点）を踏まえ、沖縄市における交通の課題を整理 [⇒本資料 P2 参照](#)

基本理念・目標像・基本方針

- 沖縄市における交通の課題及び上位・関連計画を踏まえ、将来像「国際文化観光都市」の実現に向けた「**基本理念**」、交通まちづくりの「**目標像**」、目指すべき目標像の実現に向けた「**基本方針**」を設定 [⇒本資料 P2~3 参照](#)

施策の方向性

- 本市の交通まちづくりにおける土台となり、概ね 20 年後の本市の望ましい「**将来交通ネットワーク**」を設定 [⇒本資料 P4~5 参照](#)
- 各基本方針に基づき展開する「**交通施策の方針**」を設定 [⇒本資料 P6~7 参照](#)

計画の実現に向けて

- 計画の実現に向けた「**施策の推進**」に係る方針や「**計画目標**」、「**評価・検証・改善の仕組み**」を設定 [⇒本資料 P8 参照](#)

- 今後、「沖縄市交通基本計画」の内容を踏まえ、短中期（5～10 年以内）に重点的・優先的に取り組むべき施策を戦略的に展開するための「**沖縄市総合交通戦略**」を策定

交通基本計画の概要

基本理念

目標像

上位計画及び関連計画

- ①体系的な骨格的道路網の構築
- ②新たな公共交通等の整備・推進
- ③低炭素社会の実現
- ④人優先のまちづくりの実現
- ⑤災害に強い交通体系の構築
- ⑥中心市街地の活性化
- ⑦魅力があり地域振興に寄与する道路空間の創出

沖縄市の交通課題

- ①体系的な道路網の構築
 - 1.道路ネットワークの検討
 - 2.交通渋滞の解消
- ②公共交通の利用促進
 - 1.公共交通の利便性向上
- ③安全・安心な交通体系の構築
 - 1.狭隘道路の改善
 - 2.災害に強い交通体系の構築
 - 3.誰もが利用できる快適な道路空間の構築
- ④まちの魅力向上
 - 1.魅力的な道路空間の創出
- ⑤利用者意識の改革
 - 1.ソフト施策の実施

人・文化・環境を大切に
する交通まちづくり

目標像①

人の暮らしを支える、
安全・安心なまち

様々な災害や危険から市民を守り、誰もが安心して生活できるまちであるとともに、市民の日々の快適な暮らしや産業の成長を支えるまちを目指します。

目標像②

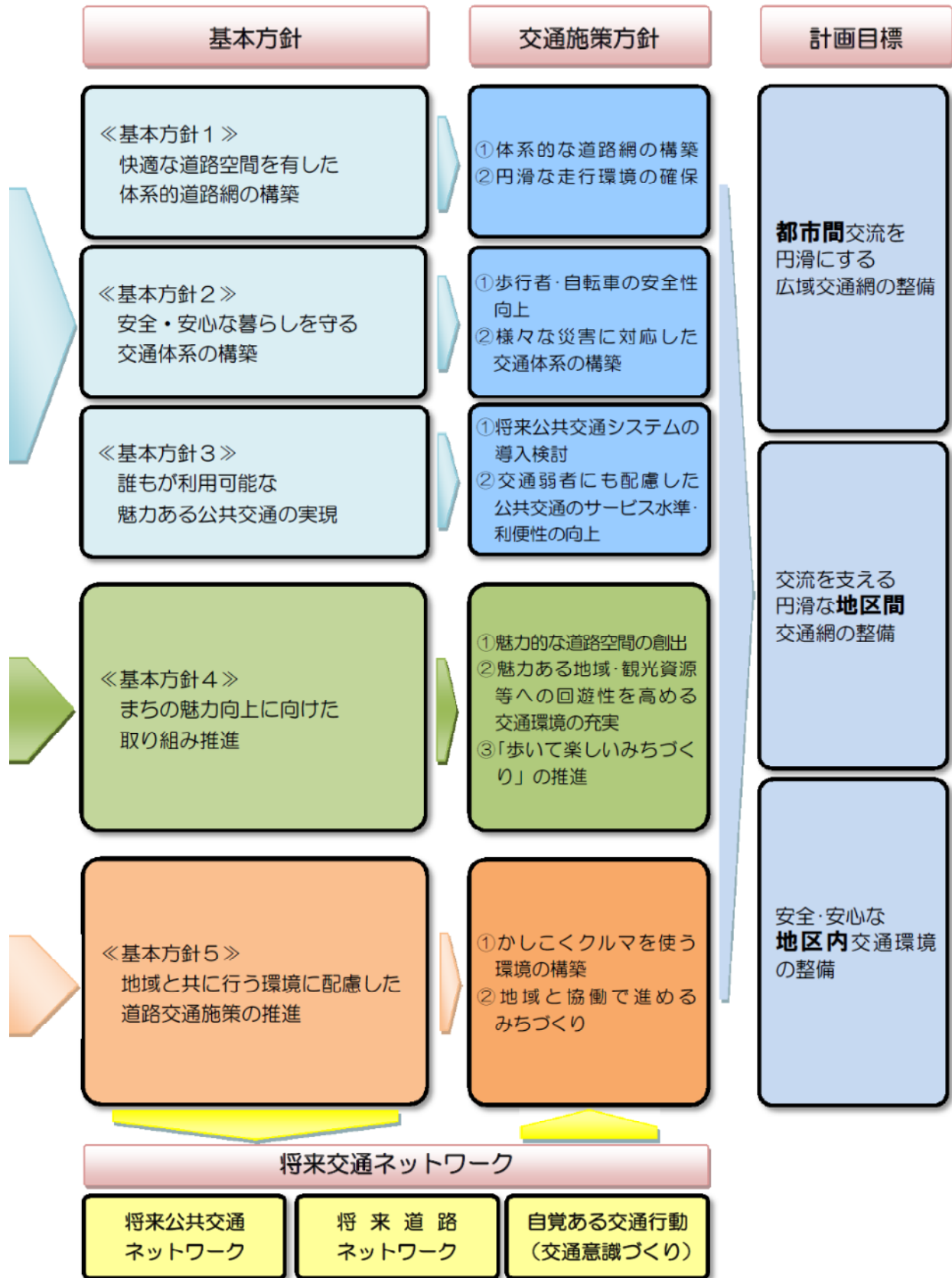
文化を育み、
魅力あふれるまち

沖縄市が培ってきた豊かな文化を発信し、地域資源を活かした回遊性の向上を図ることで、魅力にあふれる空間を創出します。

目標像③

環境にやさしく、
未来につなぐまち

循環型・低炭素社会を目指すとともに、市民一人ひとりが環境に配慮したまちづくりを考え、取り組むことで地球環境にやさしい都市を将来世代につないでいきます。

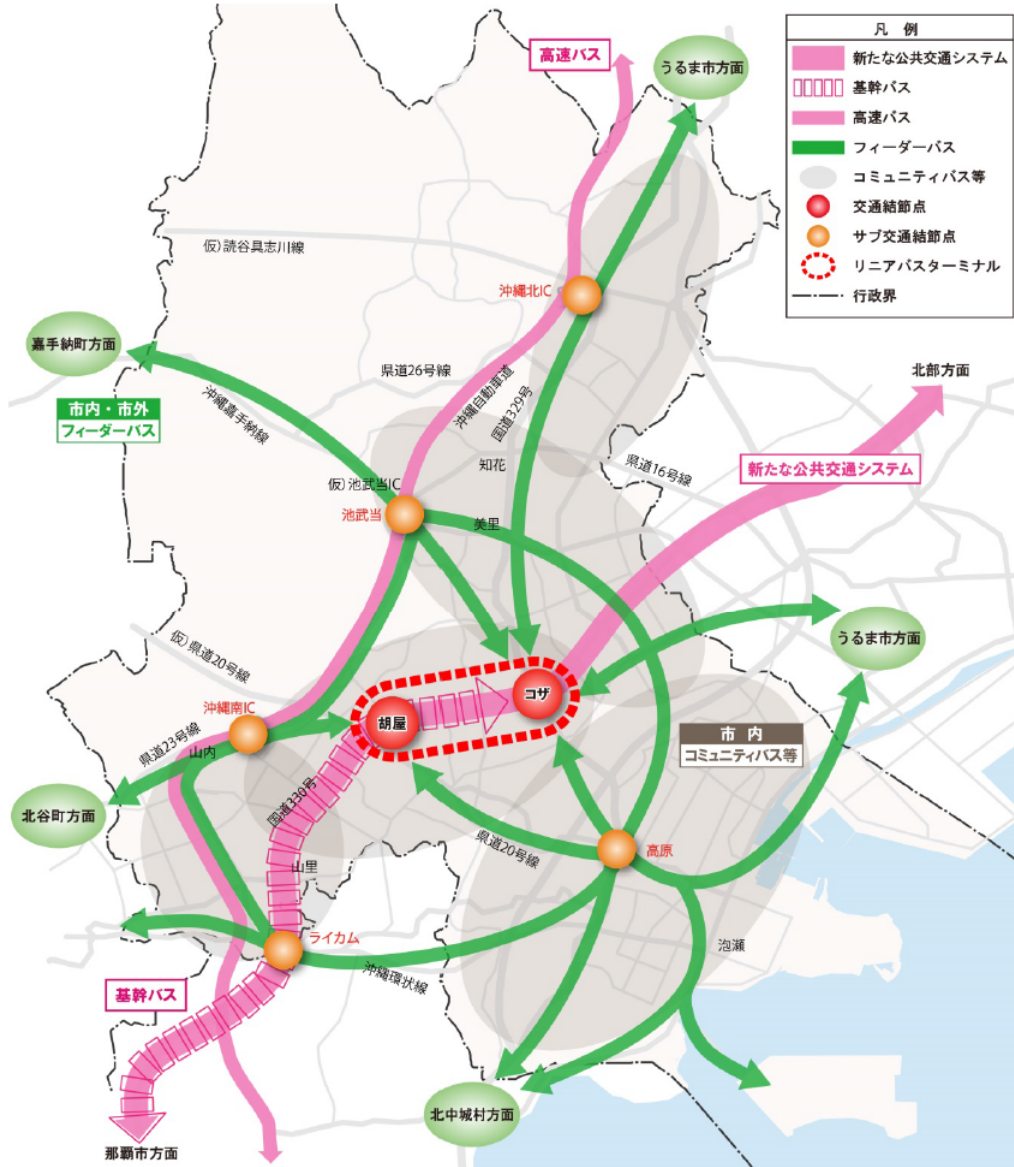


将来交通ネットワーク

概ね 20 年後の本市の望ましい公共交通及び道路のネットワーク

- 将来公共交通ネットワークと将来道路ネットワークをより効果的に活かすための自覚ある交通行動（交通意識づくり）も目標像の実現に不可欠であり、これらを実現することで円滑な移動を確保

将来公共交通ネットワーク



※イメージであり、路線数や経路等を決定するものではありません

公共交通手段等	概要	
広域的な移動を担う公共交通	新たな公共交通システム	鉄軌道を含む新たな公共交通システム
	基幹バス	本市と那覇市間において新たな公共交通システムを補完する公共交通
	高速バス	沖縄自動車道沿線の主要都市とを結び、定時速達性に優れ、広域的な移動に対応した公共交通
周辺市町村及び市内各地区への移動を担う公共交通	フィーダーバス	周辺市町村や市内各地区への移動に対応した公共交通
地区内の移動を担う公共交通	コミュニティバス等	市内各地区内の移動に対応し、フィーダーバスで補えない地域での移動を補完する公共交通
乗り継ぎ拠点	交通結節点	リニアバスターミナルを形成する本市の核となる乗り継ぎ拠点
	サブ交通結節点	各地区の交通の要衝となる乗り継ぎ拠点

将来道路ネットワーク



道路区分	概要
高規格幹線道路	沖縄県本島の各拠点を連絡する道路で、特に高い走行機能と交通処理機能を有する道路
主要幹線道路(国道、県道)	都市間を連絡し、都市に出入する交通など、広域的な交通を処理する道路で、高い走行機能と交通処理機能を有する道路
幹線道路(県道、市道)	主に主要幹線道路や周辺住宅地を結び、都市拠点へのアクセス機能を有する道路や、本市中心部への交通集中を緩和し、通過交通を処理する道路
補助幹線道路(市道)	主要幹線道路、幹線道路で囲まれた区域内においてこれらの道路を補完し、区域内に発生集中する交通を効率的に集散させるための補助的な幹線道路
その他主要な道路(市道)	その他、地域の骨格を形成する主要な道路
実現化検討道路	今後実現化を検討する構想道路

自覚ある交通行動(交通意識づくり)

- 将来公共交通システムや基幹バスシステム等の導入による公共交通の利便性向上やモビリティマネジメントの推進などにより、過度な自家用車利用を抑制し、適正な道路利用を促す

目標像の実現を目指す交通施策の方針

<目標像①「人の暮らしを支える、安全・安心なまち」に向けた施策の方針>

基本方針1：快適な道路空間を有した体系的道路網の構築

交通施策方針①：体系的な道路網の構築

- 幹線道路の整備
- 物流を支える交通基盤整備

交通施策方針②：円滑な走行環境の確保

- 交通渋滞やボトルネック交差点の解消



胡屋北交差点 整備イメージ

基本方針2：安全・安心な暮らしを守る交通体系の構築

交通施策方針①：歩行者・自転車の安全性向上

- 交通弱者へ配慮したユニバーサルデザイン
- 安全安心な歩行者・自転車の通行環境の確保
- 安全意識やモラルの向上

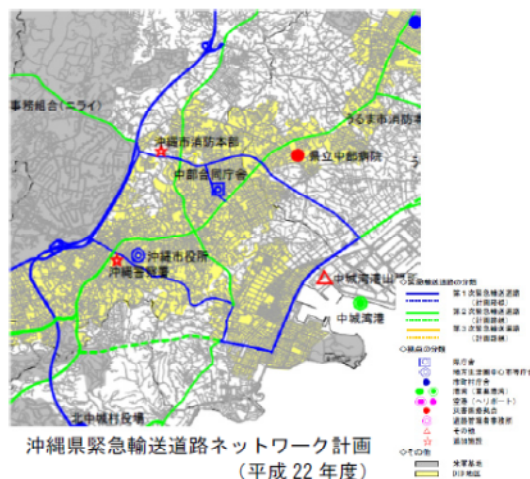


整備イメージ

交通施策方針②：

様々な災害に対応した交通体系の構築

- 避難路や緊急輸送道路ネットワークの整備
- 災害に強い道路の整備
- 狭隘道路の改善



沖縄県緊急輸送道路ネットワーク計画
(平成22年度)

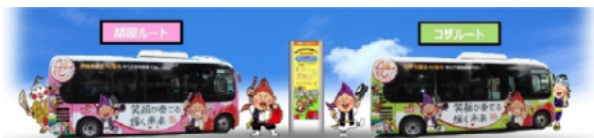
基本方針3：誰もが利用可能な魅力ある公共交通の実現

交通施策方針①：将来公共交通システムの導入検討

- 新たな公共交通システムの導入
- 基幹バスシステムの導入
- コミュニティバス等の導入
- 交通結節点の整備

交通施策方針②：交通弱者にも配慮した公共交通のサービス水準・利便性の向上

- 交通弱者に配慮した車両の導入
- 快適なバス待ち空間の確保



沖縄市循環バス

<目標像②「文化を育み、魅力あふれるまち」に向けた施策の方針>

基本方針4：まちの魅力向上に向けた取り組み推進

交通施策方針①：魅力的な道路空間の創出

- 周辺環境と調和した沖縄市らしい景観形成
- 良好な沿道環境の創出
- 文化・伝統を継承し、まちの魅力を情報発信する空間の確保



沖縄市らしい景観形成
整備イメージ



良好な沿道環境の創出
整備イメージ（胡屋交差点）



道路でのイベント開催
（コザ・ゲート通り）

交通施策方針②：魅力ある地域・観光資源等への回遊性を高める交通環境の充実

- 多様な交通手段の利用による地域・観光資源等への回遊性の向上
- 広域交通体系の構築とインターチェンジによる広域交流の促進
- 様々な交通手段相互の乗り継ぎ利便性の向上

交通施策方針③：「歩いて楽しいみちづくり」の推進

- 歩行者の安全性の確保と魅力ある歩行空間の整備
- 歩行者の快適な移動環境の形成



整備イメージ

<目標像③「環境にやさしく、未来につなぐまち」に向けた施策の方針>

基本方針5：地域と共に行う環境に配慮した道路交通施策の推進

交通施策方針①：かしこくクルマを使う環境の構築

- モビリティマネジメントの継続的な実施
- かしこくクルマを使える環境の構築
- 自動車交通の適正化

交通施策方針②：地域と協働で進めるみちづくり

- 持続可能な道路管理の確立



かしこくクルマを使う環境の構築
施策展開イメージ

出典：沖縄総合事務局 HP

計画の実現に向けて

<施策の推進>

① 沖縄市総合交通戦略の策定

- 短中期（5～10年以内）に重点的・優先的に取り組むべき施策については、「沖縄市総合交通戦略」に基づいて戦略的に展開

② 主体的な取組及び協働・連携

- 市民や地域、企業、公共交通事業者及び行政等の関係者が、それぞれの担う役割を理解し、主体的に取り組み、協働・連携
- 市民や地域、企業自らが考え、参加する取り組みを推進
- 周辺市町村とも連携した一体的な取り組みを推進

③ 推進体制の構築

- 市民や地域、企業、公共交通事業者及び行政等の関係者が一体となり、定期的に会議を開催するなど、取り組みの進行状況や目標の達成状況を確認し、情報交換を行う



<計画目標>

- 交通施策方針に基づく目標を定め評価することにより、着実に交通環境が改善されていることを確認

交通課題	基本方針	計画目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 道路ネットワークの検討 ● 交通渋滞の解消 	快適な道路空間を有した体系的道路網の構築	都市間交流を円滑にする広域交通網の整備促進
<ul style="list-style-type: none"> ● 狭隘道路の改善 ● 災害に強い交通体系の構築 ● 誰もが利用できる快適な道路空間の構築 	安全・安心な暮らしを守る交通体系の構築	
<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通の利便性向上 	誰もが利用可能な魅力ある公共交通の実現	交流を支える円滑な地区間交通網の整備
<ul style="list-style-type: none"> ● 魅力的な道路空間の創出 	まちの魅力向上に向けた取り組み推進	安全・安心な地区内交通環境の整備
<ul style="list-style-type: none"> ● ソフト施策の実施 	地域と共に行う環境に配慮した道路交通施策の推進	

<評価・検証・改善の仕組み>

- 概ね20年後の目標達成に向けて、推進体制を構築
- 計画の取り組みについて各実施主体へのモニタリング
- 交通社会に参画する市民や地域、企業、公共交通事業者及び行政等の関係者が協働・連携して、着実に計画を推進
 - 計画の立案（Plan）・計画の実施（Do）・計画の評価（Check）・計画の改善（Action）を繰り返し（PDCAサイクル）により本計画を推進
- 「沖縄市総合交通戦略」の見直し（5～10年後）にあわせ、必要に応じ本計画を見直し

